

# 特定事業主行動計画策定のための職員アンケート結果

箕面市人事制度等検討委員会  
平成17年(2005年)3月

## 特定事業主行動計画策定のためのアンケート調査結果について

### 1. 目的

昨年7月に次世代育成支援対策推進法が成立しました。この法律は、急速な少子化の進行等を踏まえ、次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、かつ、育成される環境の整備を図ることを目的としており、この目的の達成のため、特定事業主である地方公共団体の機関は、職員の仕事と家庭の両立支援等に関し、目標及び目標達成のために講じる措置の内容等を記載した行動計画を策定し、公表することが義務付けられている。

そこで本市の特定事業主行動計画の策定にあたって、職員の方々の仕事と子育ての両立支援等に対する意識や実態を調査することを目的にアンケート調査を実施した。

### 2. 実施日

平成16年12月 1日配布

平成16年12月13日回収

### 3. 対象者

一般職の常勤職員及び非常勤職員

### 4. 回収結果

	配布枚数	回収枚数	回収率
男性	915	734	80.2
女性	792	623	78.7
	1,707	1,357	79.5

### 5. 質問事項

- Q1 . あなたの性別・職種・役職・勤務形態について、当てはまるもの1つに○をつけてください。
- Q2 . 現在のあなたの子ども（中学生以下の子に限る）の養育状況について、当てはまるもの全てに○をつけてください。
- Q3 . あなたの勤務地はどちらですか。
- Q4 . 配偶者の就労状況について、当てはまるもの1つに○をつけてください。
- Q5 . 次の休暇等の制度について、制度内容を知っているもの全てに○をつけてください。
- Q6 . あなたは子どもが生まれたときに、育児休業（育児欠勤）を取得しましたか。
- Q7 . 育児休業（育児欠勤）を取得した動機について、当てはまるもの全てに○をつけてください。
- Q8 . 育児休業（育児欠勤）を取得する際に障壁となった事項として、当てはまるもの全てに○をつけてください。
- Q9 . 育児休業（育児欠勤）を取得した感想として、当てはまるもの全てに○をつけてください。
- Q10 . なぜ育児休業（育児欠勤）を取得しなかったのですか。当てはまるもの全てに○をつけてください。
- Q11 . 育児休業（育児欠勤）の取得を促進するために取り組むことが必要と思われる事項として当てはまるもの全てに○をつけてください。
- Q12 . あなたが年次有給休暇を取得する方針として、当てはまるもの1つに○をつけてください。
- Q13 . 現在の職場で、あなたは、年次有給休暇を取得しやすいですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。
- Q14 . 取得しやすい理由として、当てはまるもの全てに○をつけてください。
- Q15 . 取得しにくい理由として、当てはまるもの全てに○をつけてください。
- Q16 . 年次有給休暇の取得を促進するために取り組むことが必要と思われる事項として、当てはまるもの全てに○をつけてください。
- Q17 . あなたの時間外勤務についての考え方として、当てはまるもの1つに○をつけてください。
- Q18 . 時間外勤務を減らすために効果的と思われる方法について、当てはまるもの1つに○をつけてください。
- Q19 . 庁内又は庁舎の近隣に託児施設の設置が必要と考えますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。
- Q20 . 必要であると考え理由として、当てはまるもの全てに○をつけてください。
- Q21 . 必要でないと考え理由として、当てはまるもの全てに○をつけてください。
- Q22 . 国が定めた行動計画策定指針では、育児休業及び休暇の取得や時間外勤務の縮減以外に、以下の事項について規定されていますが、本市の次世代育成支援対策に効果的と思われる取り組みとして当てはまるもの全てに○をつけてください。
- Q23 . 上記Q22以外に本市の次世代育成支援策として、具体的に計画に盛り込むべきと思われる事項について、当てはまるもの全てに○をつけてください。
- Q24 . その他に、特定事業主行動計画の策定にあたり、ご意見等がありましたら書いてください。

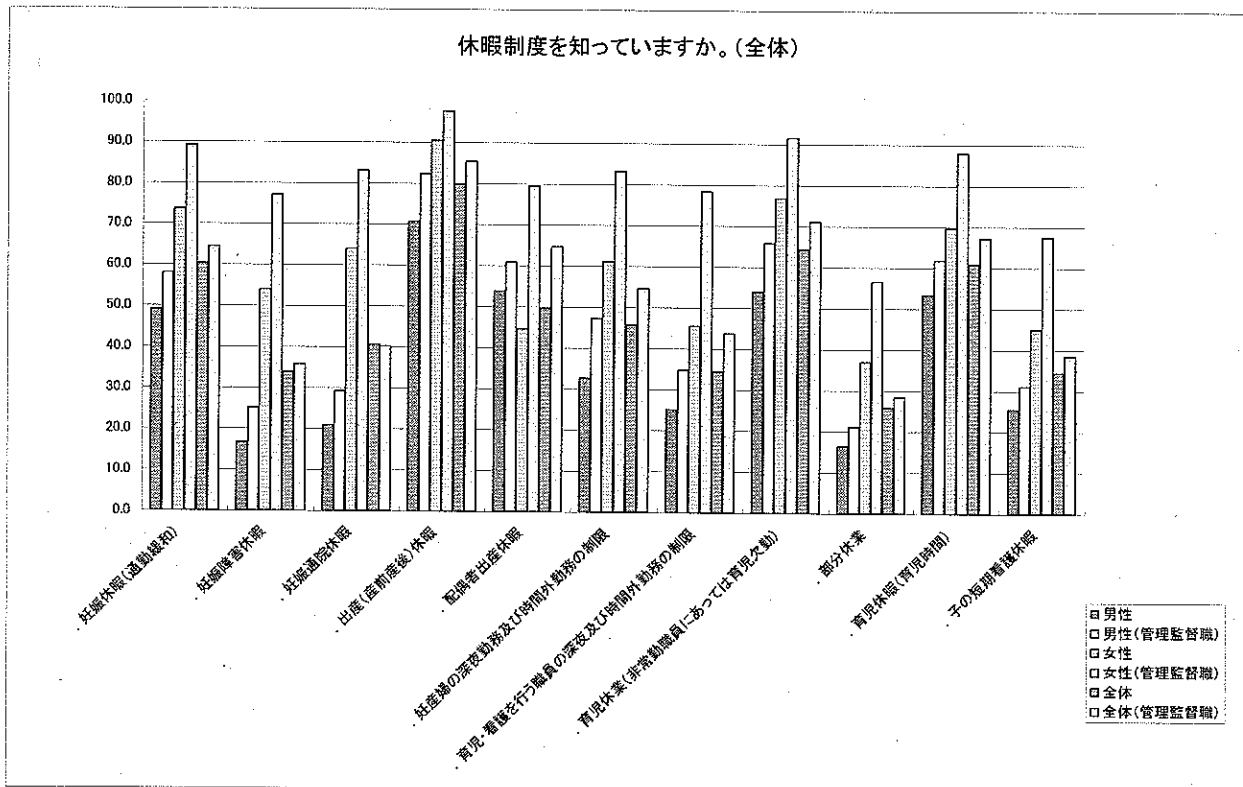
# 1. 休暇制度について、制度を知っていますか。

- ・出産休暇や育児休暇については、知っている者の割合は高い。
- ・部分休業や妊娠障害休暇、育児看護職員の深夜・時間外勤務の制限などは、3割前後しかない。
- ・知っている者の割合は、女性職員に比べ、男性職員が低い。

※有効回答 1,354件 ※全体（常勤・非常勤）

(人:%)

	男 性				女 性				全 体			
			うち管理監督職				うち管理監督職				うち管理監督職	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
	734		322		620		83		1,354		405	
1. 妊娠休暇（通勤緩和）	360	49.0	187	58.1	457	73.7	74	89.2	817	60.3	261	64.4
2. 妊娠障害休暇	123	16.8	81	25.2	335	54.0	64	77.1	458	33.8	145	35.8
3. 妊娠通院休暇	154	21.0	94	29.2	397	64.0	69	83.1	551	40.7	163	40.2
4. 出産（産前産後）休暇	519	70.7	265	82.3	561	90.5	81	97.6	1,080	79.8	346	85.4
5. 配偶者出産休暇	395	53.8	196	60.9	277	44.7	66	79.5	672	49.6	262	64.7
6. 妊産婦の深夜勤務及び時間外勤務の制限	240	32.7	152	47.2	379	61.1	69	83.1	619	45.7	221	54.6
7. 育児・看護を行う職員の深夜及び時間外勤務の制限	184	25.1	112	34.8	282	45.5	65	78.3	466	34.4	177	43.7
8. 育児休業（非常勤職員にあっては育児欠勤）	396	54.0	212	65.8	476	76.8	76	91.6	872	64.4	288	71.1
9. 部分休業	120	16.3	68	21.1	229	36.9	47	56.6	349	25.8	115	28.4
10. 育児休暇（育児時間）	392	53.4	199	61.8	432	69.7	73	88.0	824	60.9	272	67.2
11. 子の短期看護休暇	187	25.5	100	31.1	279	45.0	56	67.5	466	34.4	156	38.5



## 2. 育児休業の取得について

\*対象者：小学校に入るまでの子を養育している職員 247人(男性133人、女性114人)

・育児休業を取得した者の割合は、42.9%(男性3.9%、女性89.0%)となっている。

・全体 ※有効回答 238件

	人数	割合
取得した	102	42.9
取得しなかった	136	57.1
	238	

・女性 ※有効回答 109件

	人数	割合
取得した	97	89.0
取得しなかった	12	11.0
	109	

・男性 ※有効回答 129件

	人数	割合
取得した	5	3.9
取得しなかった	124	96.1
	129	

## 3. 育児休業を取得した動機(複数回答可)

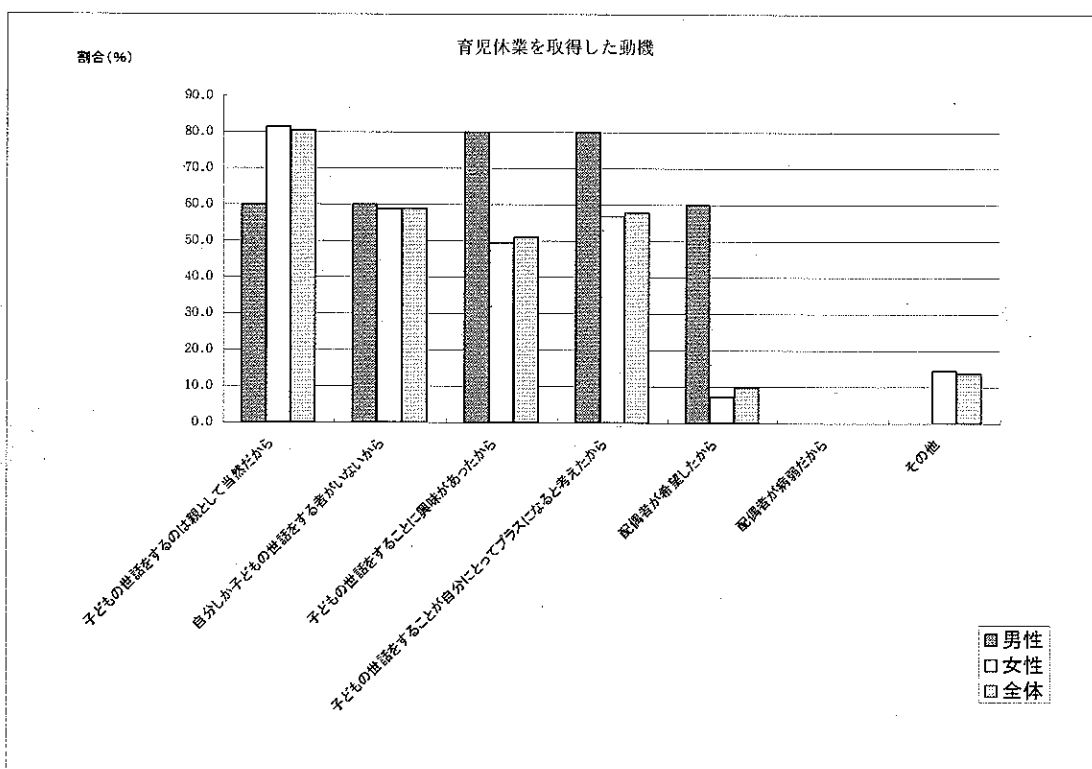
・育児休業を取得した動機としては、「子どもの世話をするのは親として当然だから」、「自分しか子どもの世話をする者がいないから」、「子どもの世話をすることが自分にとってプラスになると考えたから」と回答した者の割合が多い。

※有効回答 102件

※全体(常勤・非常勤)

(人:%)

	男性		女性		全体	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 子どもの世話をするのは親として当然だから	3	60.0	79	81.4	82	80.4
2 自分しか子どもの世話をする者がいないから	3	60.0	57	58.8	60	58.8
3 子どもの世話をすることに興味があったから	4	80.0	48	49.5	52	51.0
4 子どもの世話をすることが自分にとってプラスになると考えたから	4	80.0	55	56.7	59	57.8
5 配偶者が希望したから	3	60.0	7	7.2	10	9.8
6 配偶者が病弱だから	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7 その他	0	0.0	14	14.4	14	13.7
	5		97		102	



#### 4. 育児休業を取得した際に、障壁となった事項(複数回答可)

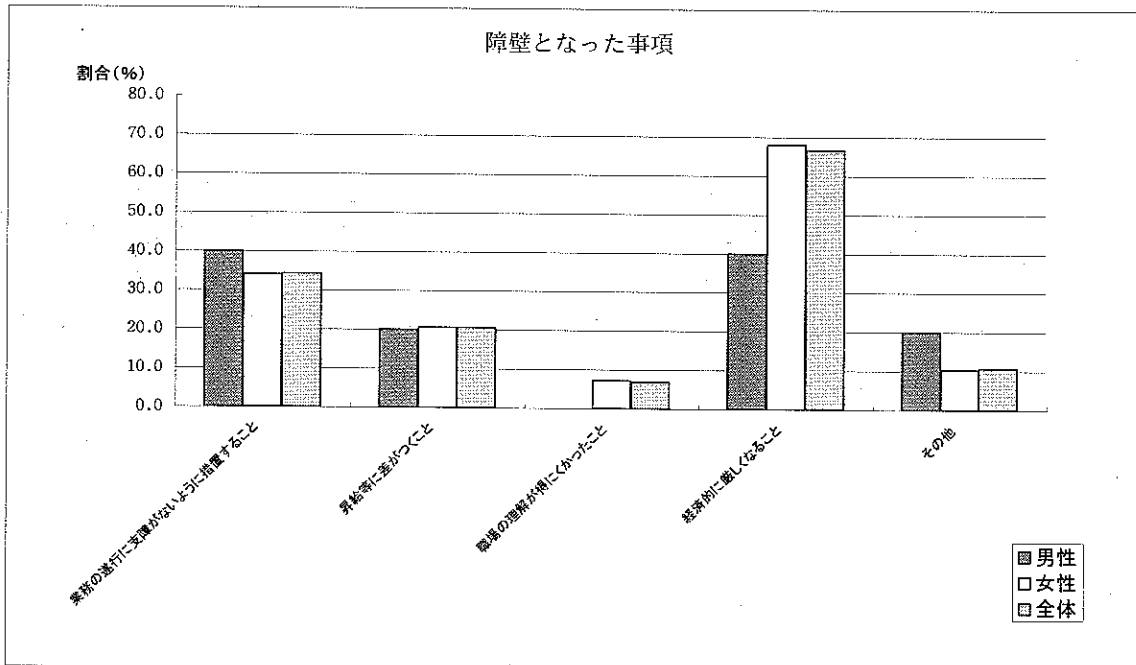
・育児休業を取得した際に、障壁となった事項としては、「業務の遂行に支障がないように措置すること」、「経済的に厳しくなること」と回答した者の割合が多い。

※有効回答 102件

※全体 (常勤・非常勤)

(人:%)

	男性		女性		全体	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 業務の遂行に支障がないように措置すること	2	40.0	33	34.0	35	34.3
2 昇給等に差がつくこと	1	20.0	20	20.6	21	20.6
3 職場の理解が得にくかったこと	0	0.0	7	7.2	7	6.9
4 経済的に厳しくなること	2	40.0	66	68.0	68	66.7
5 その他	1	20.0	10	10.3	11	10.8
	5		97		102	



5. 育児休業を取得した感想(複数回答可)

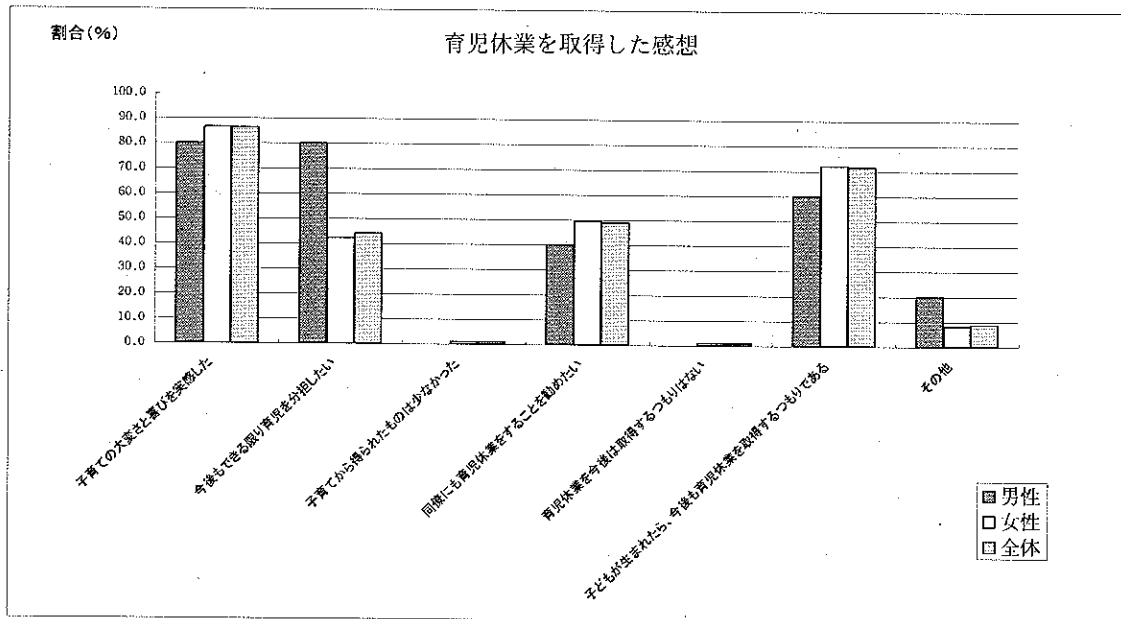
- ・育児休業を取得した感想としては、「子育ての大変さと喜びを実感した」、「子どもが生まれたら今後も育児休業を取得するつもりである」と回答した者の割合が多い。
- ・一方、「子育てから得られたものは少なかった」、「育児休業は今後するつもりはない」と回答した者の割合は極めて少なかった。

※有効回答 102件

※全体 (常勤・非常勤)

(人:%)

	男性		女性		全体	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 子育ての大変さと喜びを実感した	4	80.0	84	86.6	88	86.3
2 今後もしできる限り育児を分担したい	4	80.0	41	42.3	45	44.1
3 子育てから得られたものは少なかった	0	0.0	1	1.0	1	1.0
4 同僚にも育児休業をすることを勧めたい	2	40.0	48	49.5	50	49.0
5 育児休業を今後は取得するつもりはない	0	0.0	1	1.0	1	1.0
6 子どもが生まれたら、今後も育児休業を取得するつもりである	3	60.0	70	72.2	73	71.6
7 その他	1	20.0	8	8.2	9	8.8
	5		97		102	



## 育児休業(育児欠勤)を取得しなかった事について

\*対象者:小学校に入るまでの子を養育している職員 247人(男性133人、女性114人)

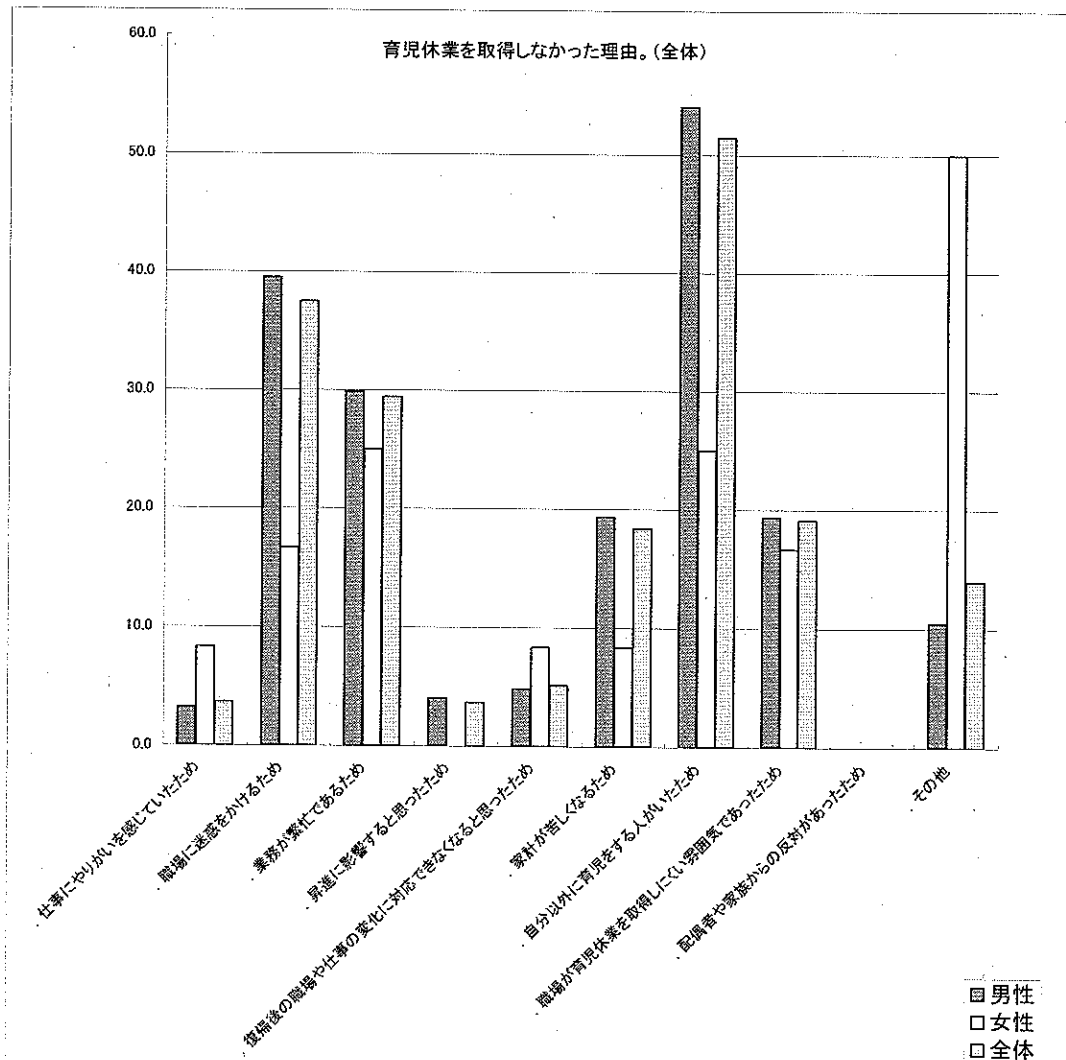
### 6. 育児休業を取得しなかった理由(複数回答可)

・育児休業を取得しなかった理由としては、「職場に迷惑をかけるため」、「業務が繁忙であるため」、「自分以外に育児をする人がいたため」と回答した者の割合が多い。

※有効回答 136件

※全体(常勤・非常勤)

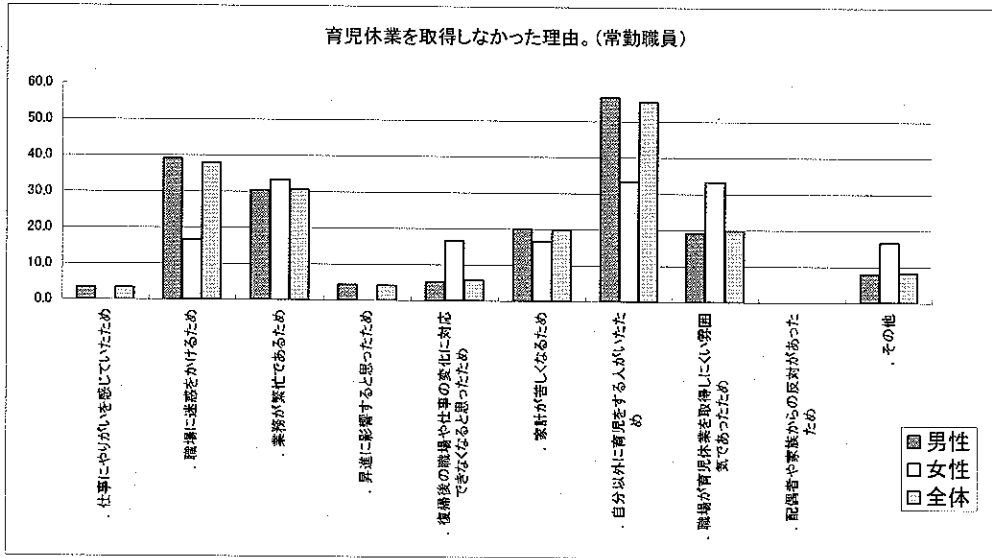
	男性		女性		全体	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
	124		12		136	
1. 仕事にやりがいを感じていたため	4	3.2	1	8.3	5	3.7
2. 職場に迷惑をかけるため	49	39.5	2	16.7	51	37.5
3. 業務が繁忙であるため	37	29.8	3	25.0	40	29.4
4. 昇進に影響すると思ったため	5	4.0	0	0.0	5	3.7
5. 復帰後の職場や仕事の変化に対応できなくなるといったため	6	4.8	1	8.3	7	5.1
6. 家計が苦しくなるため	24	19.4	1	8.3	25	18.4
7. 自分以外に育児をする人がいたため	67	54.0	3	25.0	70	51.5
8. 職場が育児休業を取得しにくい雰囲気であったため	24	19.4	2	16.7	26	19.1
9. 配偶者や家族からの反対があったため	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10. その他	13	10.5	6	50.0	19	14.0



\* 育児休業を取得しなかった理由(複数回答可) ※常勤職員

※有効回答 121件

	男 性		女 性		全 体	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 仕事にやりがいを感じていたため	115		6		121	
2. 職場に迷惑をかけるため	4	3.5	0	0.0	4	3.3
3. 業務が繁忙であるため	45	39.1	1	16.7	46	38.0
4. 昇進に影響すると思ったため	35	30.4	2	33.3	37	30.6
5. 復帰後の職場や仕事の変化に対応できなくなるといったため	5	4.3	0	0.0	5	4.1
6. 復帰後の職場や仕事の変化に対応できなくなるといったため	6	5.2	1	16.7	7	5.8
7. 家計が苦しくなるため	23	20.0	1	16.7	24	19.8
8. 自分以外に育児をする人がいたため	65	56.5	2	33.3	67	55.4
9. 職場が育児休業を取得しにくい雰囲気であったため	22	19.1	2	33.3	24	19.8
10. 配偶者や家族からの反対があったため	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他	9	7.8	1	16.7	10	8.3

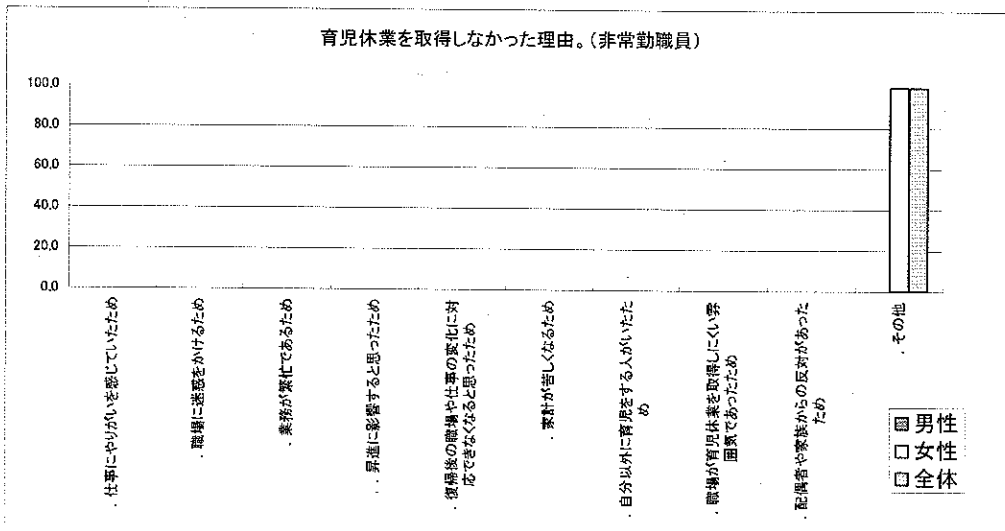


その他欄(男性9名)→「年休対応 1名」「必要なかった1名」「当時知らなかった4名」「取得困難(家計面など)2名」「就業前1名」  
 その他欄(女性1名)→「当時制度がなかったと思う 1名」

\* 育児休業を取得しなかった理由(複数回答可) ※非常勤職員

※有効回答 5件

	男 性		女 性		全 体	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 仕事にやりがいを感じていたため	0	0.0	5	100.0	5	100.0
2. 職場に迷惑をかけるため	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3. 業務が繁忙であるため	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4. 昇進に影響すると思ったため	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5. 復帰後の職場や仕事の変化に対応できなくなるといったため	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6. 家計が苦しくなるため	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7. 自分以外に育児をする人がいたため	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8. 職場が育児休業を取得しにくい雰囲気であったため	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9. 配偶者や家族からの反対があったため	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10. その他	0	0.0	5	100.0	5	100.0



※その他欄「当時制度なかった 4名」「就業前1名」



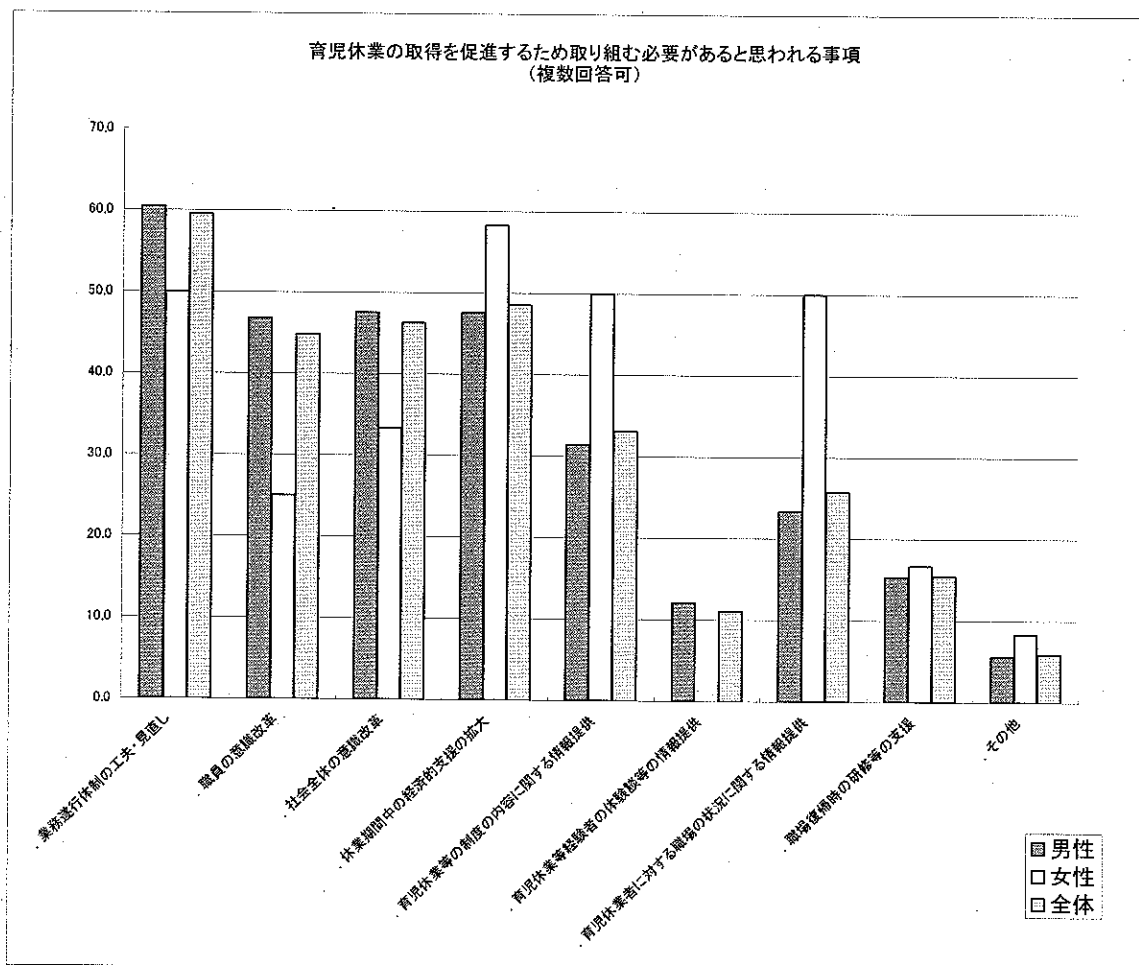
## 7. 育児休業の取得を促進するため取り組む必要があると思われる事項(複数回答可)

・育児休業の取得を促進するために取り組むことが必要と思われる事項としては、「業務遂行体制の工夫・見直し」、「職員や社会全体の改革」、「休業期間中の経済的支援の拡大」と回答した者の割合が多い。

※有効回答 136件

※全体(常勤・非常勤)

	男 性		女 性		全 体	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
	124		12		136	
1. 業務遂行体制の工夫・見直し	75	60.5	6	50.0	81	59.6
2. 職員の意識改革	58	46.8	3	25.0	61	44.9
3. 社会全体の意識改革	59	47.6	4	33.3	63	46.3
4. 休業期間中の経済的支援の拡大	59	47.6	7	58.3	66	48.5
5. 育児休業等の制度の内容に関する情報提供	39	31.5	6	50.0	45	33.1
6. 育児休業等経験者の体験談等の情報提供	15	12.1	0	0.0	15	11.0
7. 育児休業者に対する職場の状況に関する情報提供	29	23.4	6	50.0	35	25.7
8. 職場復帰時の研修等の支援	19	15.3	2	16.7	21	15.4
9. その他	7	5.6	1	8.3	8	5.9



## 8. 年次有給休暇を取得しやすさについて

※有効回答 1,316件

・年次有給休暇の取得しやすさでは、「取得しにくい」が61.9%で、「取得しやすい」を上回っている。

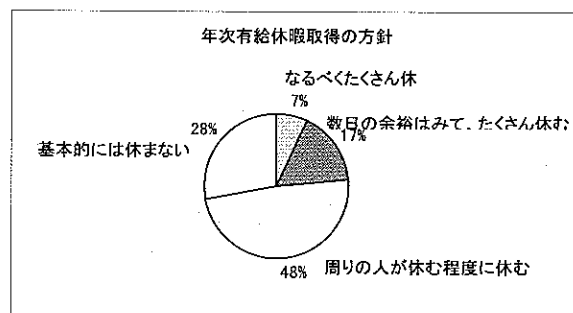
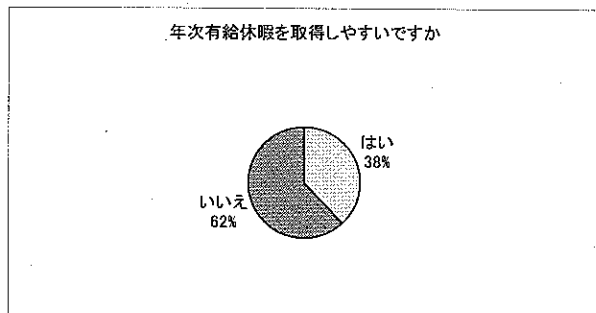
	人数	割合
1 取得しやすい	502	38.1
2 取得しにくい	814	61.9
	1,316	

## 9. 年休の取得方針 について

※有効回答 1,245件

・年休の取得方針では、「周りの人が休む程度に休む」と答えた者の割合が最も多く、半数近くを占めている。

取得しやすさ ／ 方針	取得しやすい		取得しにくい	
	人数	割合	人数	割合
1 なるべくたくさん休む	86	6.9	40	8.4
2 数日の余裕はみて、たくさん休む	207	16.6	128	27.0
3 周りの人が休む程度に休む	604	48.5	213	44.9
4 基本的には休まない	348	28.0	93	19.6
	1,245		474	

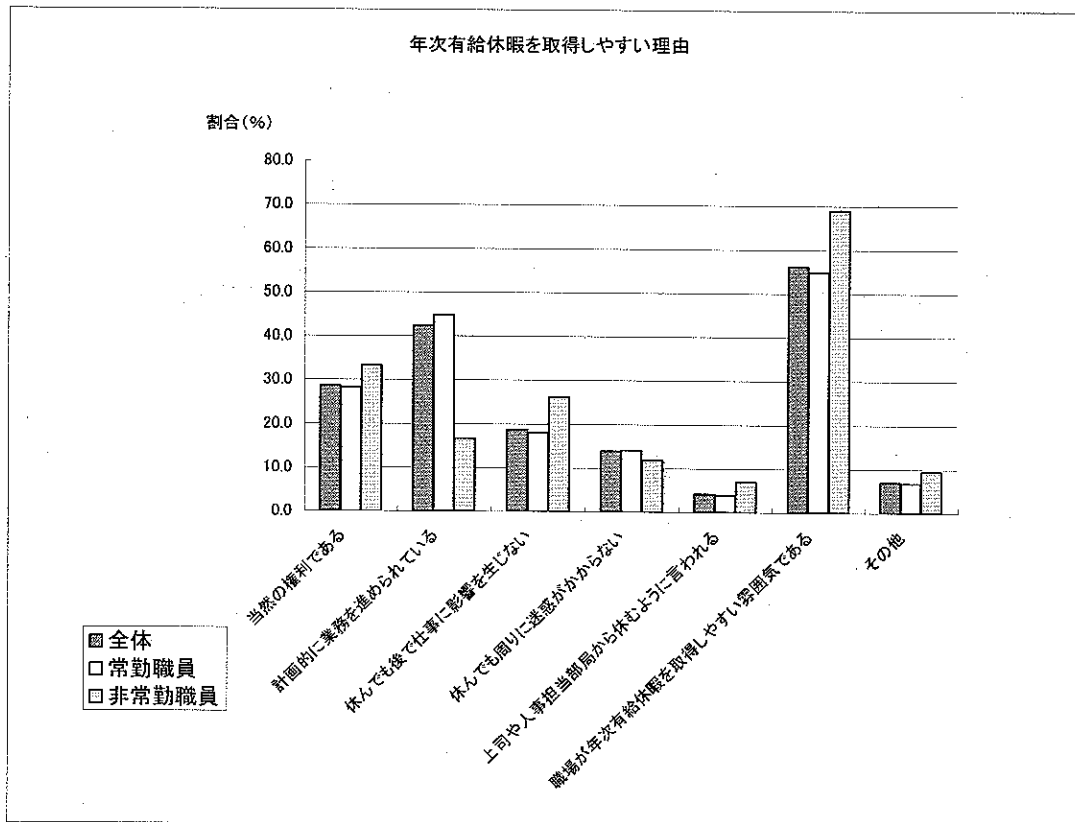


## 10. 年休を取得しやすい理由について

※有効回答 454件

・年休の取得しやすい理由では、「計画的に業務が進められている」、「職場が年次有給休暇を取得しやすい雰囲気である」と答えた者の割合が多い。

	全 体		常 勤 職 員		非 常 勤 職 員	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 当然の権利である	130	28.6	116	28.2	14	33.3
2 計画的に業務を進められている	192	42.3	185	44.9	7	16.7
3 休んでも後で仕事に影響を生じない	85	18.7	74	18.0	11	26.2
4 休んでも周りに迷惑がかからない	63	13.9	58	14.1	5	11.9
5 上司や人事担当部局から休むように言われる	19	4.2	16	3.9	3	7.1
6 職場が年次有給休暇を取得しやすい雰囲気である	255	56.2	226	54.9	29	69.0
7 その他	32	7.0	28	6.8	4	9.5
	454		412		42	

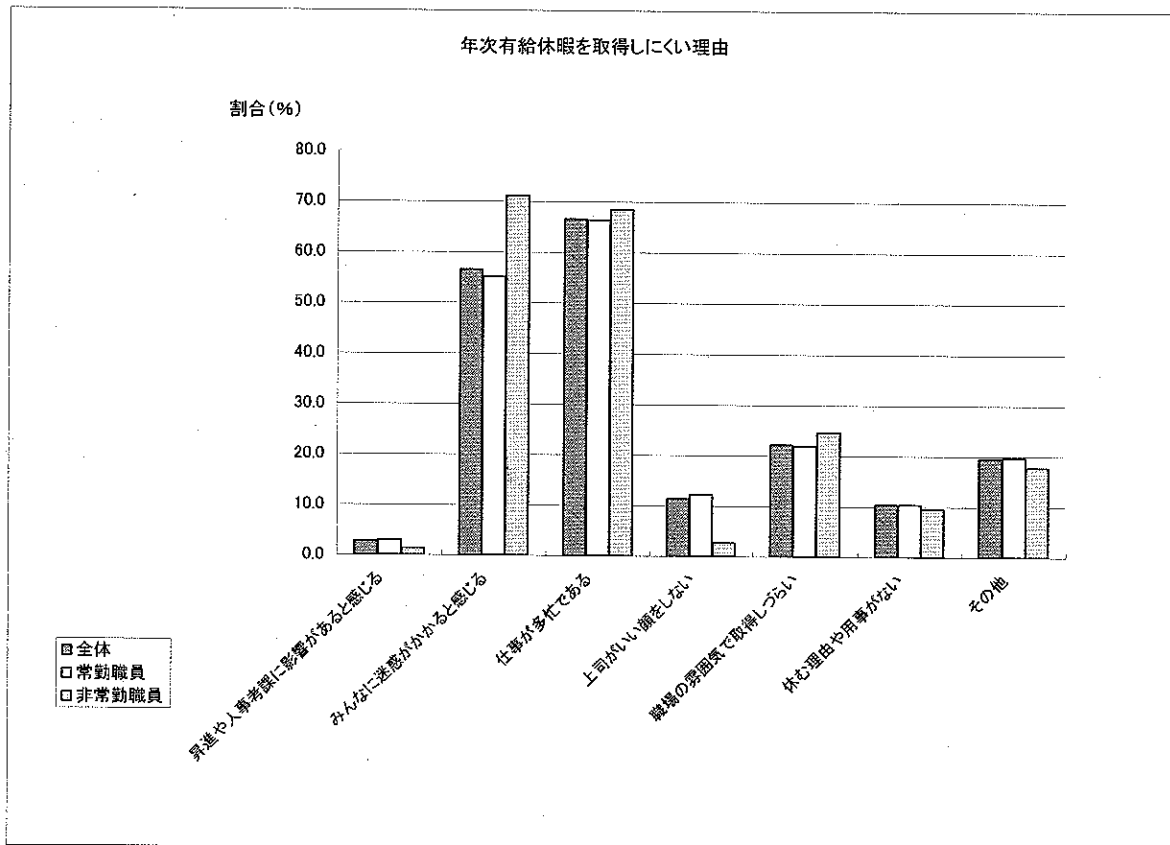


# 11. 年休を取得しにくい理由について

※有効回答 772件

・年休の取得しにくい理由では、「みんなに迷惑がかかると感じる」、「仕事が多忙である」と答えた者の割合が多い。

	全 体		常 勤 職 員		非 常 勤 職 員	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 昇進や人事考課に影響があると感じる	22	2.8	21	3.0	1	1.4
2 みんなに迷惑がかかると感じる	437	56.6	385	55.1	52	71.2
3 仕事が多忙である	514	66.6	464	66.4	50	68.5
4 上司がいい顔をしていない	88	11.4	86	12.3	2	2.7
5 職場の雰囲気取得しづらい	171	22.2	153	21.9	18	24.7
6 休む理由や用事がない	80	10.4	73	10.4	7	9.6
7 その他	151	19.6	138	19.7	13	17.8
	772		699		73	



◇取得しにくい理由の職種別内訳

人数

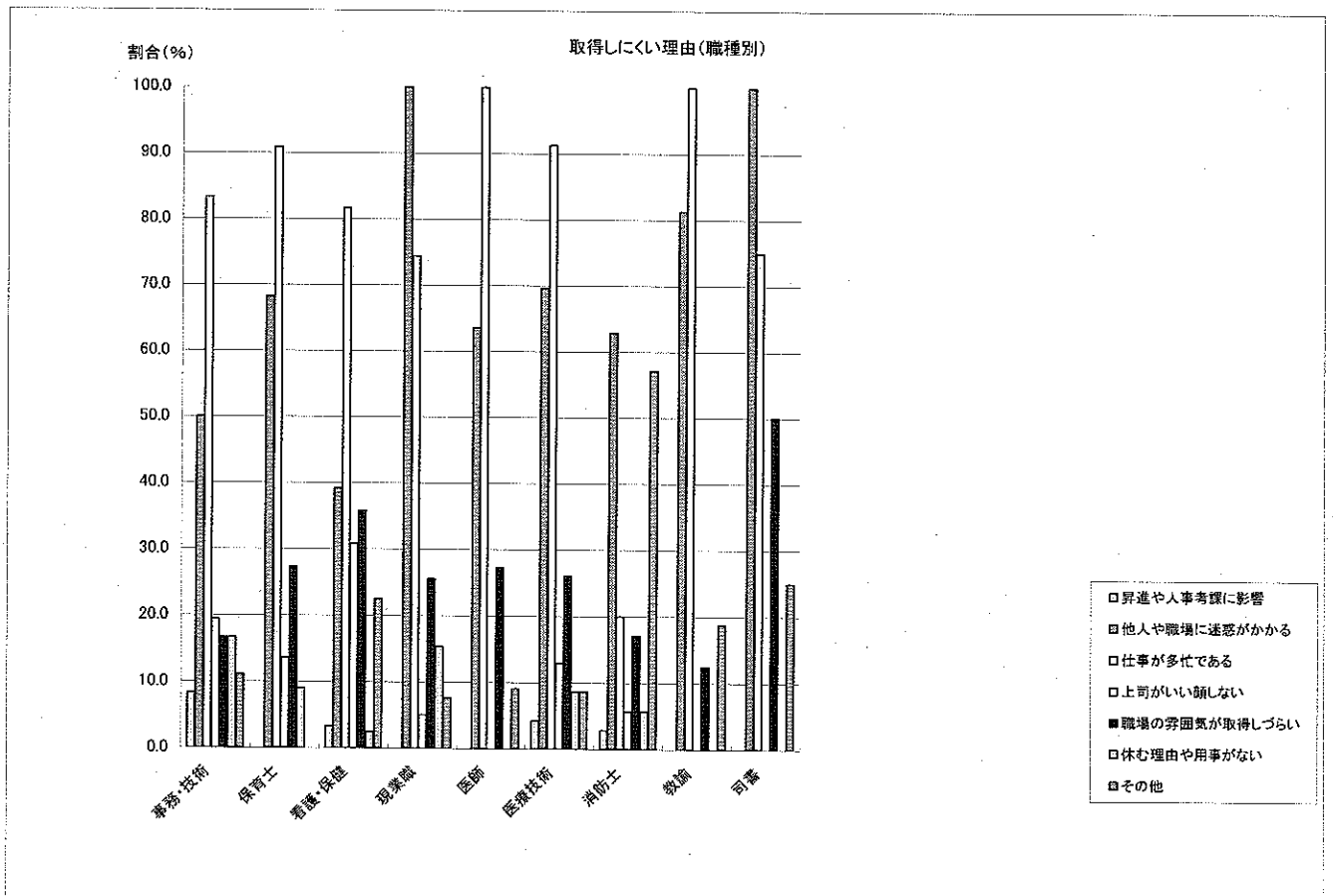
(人)

	事務・技術	保育士	看護・保健	現業職	医師	医療技術	消防士	教諭	司書
回答者数	36	22	120	39	11	23	35	16	4
1 昇進や人事考課に影響があると感じる	3	0	4	0	0	1	1	0	0
2 みんなに迷惑がかかると感じる	18	15	47	39	7	16	22	13	4
3 仕事が多忙である	30	20	98	29	11	21	7	16	3
4 上司がよい顔をしない	7	3	37	2	0	3	2	0	0
5 職場の雰囲気取得しづらい	6	6	43	10	3	6	6	2	2
6 休む理由や用事がない	6	2	3	6	0	2	2	0	0
7 その他	4	0	27	3	1	2	20	3	1

職種別の理由割合

(%)

	事務・技術	保育士	看護・保健	現業職	医師	医療技術	消防士	教諭	司書
1 昇進や人事考課に影響があると感じる	8.3	0.0	3.3	0.0	0.0	4.3	2.9	0.0	0.0
2 みんなに迷惑がかかると感じる	50.0	68.2	39.2	100.0	63.6	69.6	62.9	81.3	100.0
3 仕事が多忙である	83.3	90.9	81.7	74.4	100.0	91.3	20.0	100.0	75.0
4 上司がよい顔をしない	19.4	13.6	30.8	5.1	0.0	13.0	5.7	0.0	0.0
5 職場の雰囲気取得しづらい	16.7	27.3	35.8	25.6	27.3	26.1	17.1	12.5	50.0
6 休む理由や用事がない	16.7	9.1	2.5	15.4	0.0	8.7	5.7	0.0	0.0
7 その他	11.1	0.0	22.5	7.7	9.1	8.7	57.1	18.8	25.0

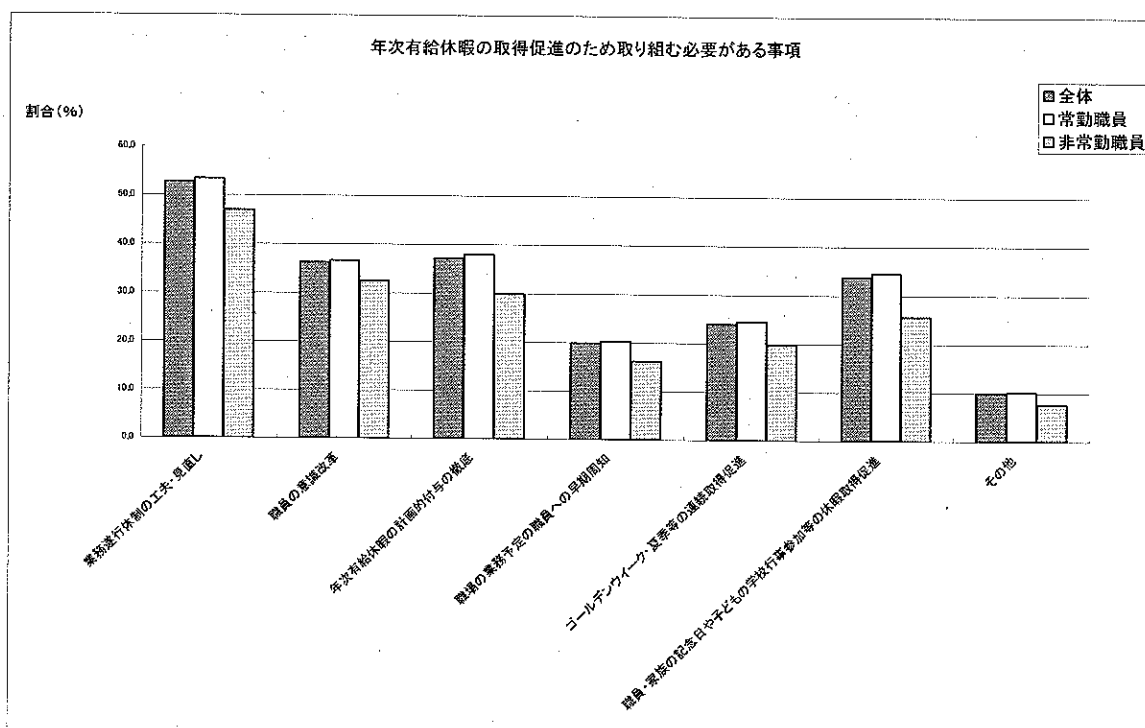


## 12. 年次有給休暇の取得促進のため取り組む必要があると思われる事項

※有効回答 1,260件

・年休の取得促進のため取り組む必要があると思われる事項では、「業務遂行体制の工夫・見直し」、「職員の意識改革」、「年休の計画的付与の徹底」、「職員・家族の記念日や子どもの学校行事参加等の休暇取得促進」と答えた者の割合が多い。

	全 体		常 勤 職 員		非 常 勤 職 員	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 業務遂行体制の工夫・見直し	665	52.8	610	53.4	55	47.0
2 職員の意識改革	457	36.3	419	36.7	38	32.5
3 年次有給休暇の計画的付与の徹底	469	37.2	434	38.0	35	29.9
4 職場の業務予定の職員への早期周知	251	19.9	232	20.3	19	16.2
5 ゴールデンウィーク・夏季等の連続取得促進	303	24.0	280	24.5	23	19.7
6 職員・家族の記念日や子どもの学校行事参加等の休暇取得促進	426	33.8	396	34.6	30	25.6
7 その他	126	10.0	117	10.2	9	7.7
	1,260		1,143		117	



### 13. 時間外勤務についての考え方

※対象者:常勤職員 (1つ選択)

	人数	割合
1 できるだけ時間外勤務をしない	300	28.0
2 仕事の状況に応じて時間外勤務をする	655	61.2
3 周りの人程度に時間外勤務をする	19	1.8
4 時間外勤務を苦しめない	58	5.4
5 その他	39	3.6
	1,071	

※ 有効回答 1,071件

### 14. 時間外勤務を減らすために効果的と思われる方法について

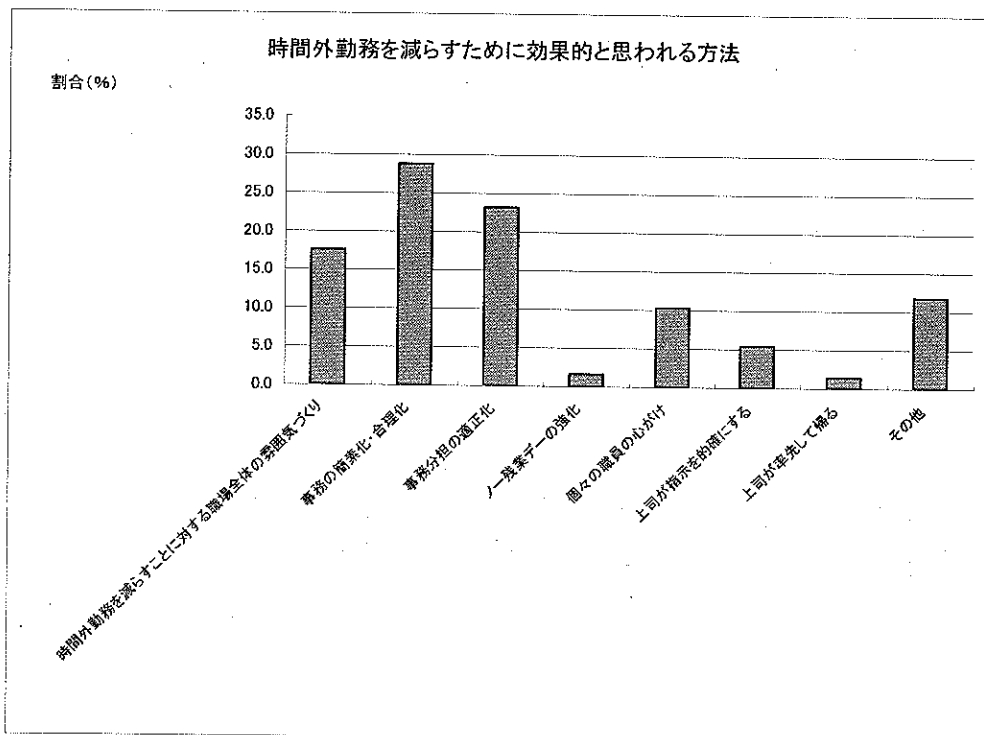
(1つ選択)

・時間外勤務を減らすために効果的と思われる方法では、「事務の簡素化・合理化」、「事務分担の適正化」と回答者の割合が多い。

また、その他の意見では「人員の適正配置」、「臨時職員の活用」などがあつた。

	人数	割合
1 時間外勤務を減らすことに対する職場全体の雰囲気づくり	124	17.6
2 事務の簡素化・合理化	203	28.8
3 事務分担の適正化	164	23.2
4 ノー残業デーの強化	11	1.6
5 個々の職員の心がけ	73	10.3
6 上司が指示を的確にする	38	5.4
7 上司が率先して帰る	10	1.4
8 その他	83	11.8
	706	

※ 有効回答 706件

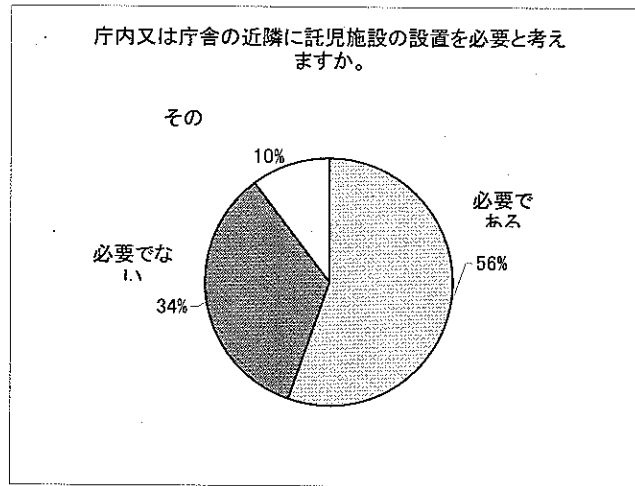


15. 庁内又は庁舎の近隣に託児施設の設置が必要と考えますか。

- ・庁内又は庁舎の近隣に託児施設の設置が必要と考える者の割合が、55%となっている。
- ・必要と考える理由では、「子どもの急な発熱や病気など緊急時に直ぐ駆けつけることができる」や「保育所等への送り迎えにかかる時間のロスをなくすことができる」と回答した者の割合が多い。

※有効回答 1,162件

	人数	割合
1 必要である	642	55.2
2 必要でない	400	34.4
3 その他	120	10.3
	1,162	

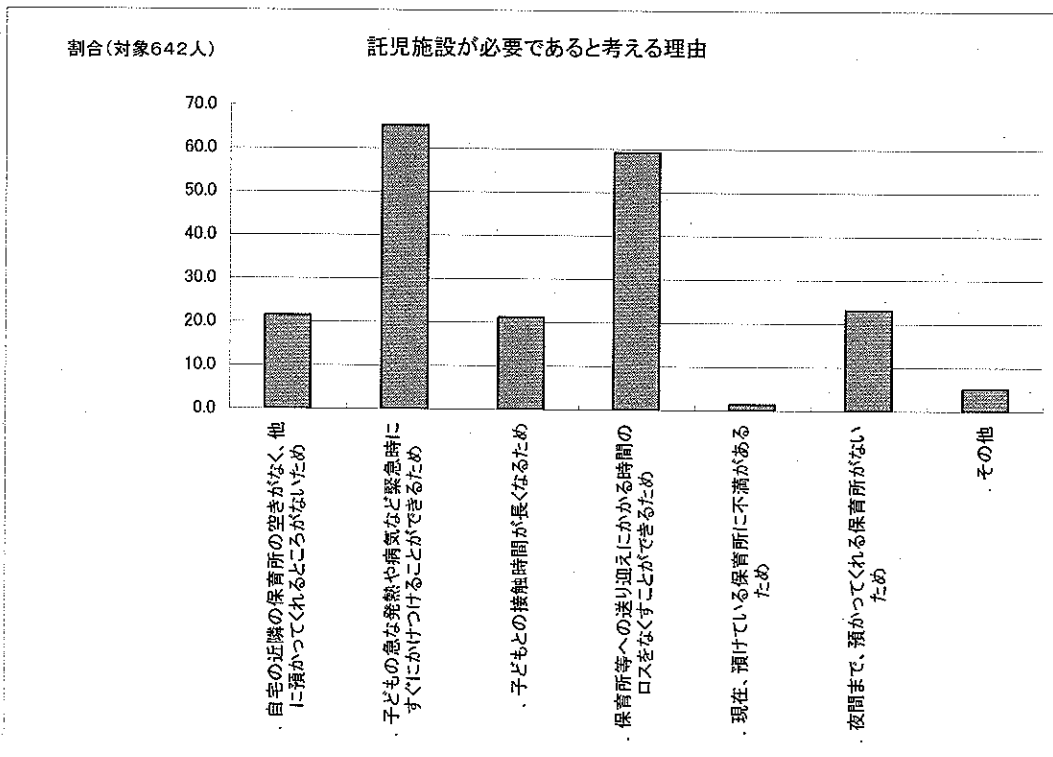


16. 庁内又は庁舎の近隣に託児施設の設置が必要であると考え理由

※複数回答可

※有効回答 642件

	人数	割合
1. 自宅の近隣の保育所の空きがなく、他に預かってくれるところがないため	138	21.5
2. 子どもの急な発熱や病気など緊急時にすぐにかけることができるため	419	65.3
3. 子どもとの接触時間が長くなるため	136	21.2
4. 保育所等への送り迎えにかかる時間のロスをなくすことができるため	380	59.2
5. 現在、預けている保育所に不満があるため	9	1.4
6. 夜間まで、預かってくれる保育所がないため	148	23.1
7. その他	33	5.1
	642	



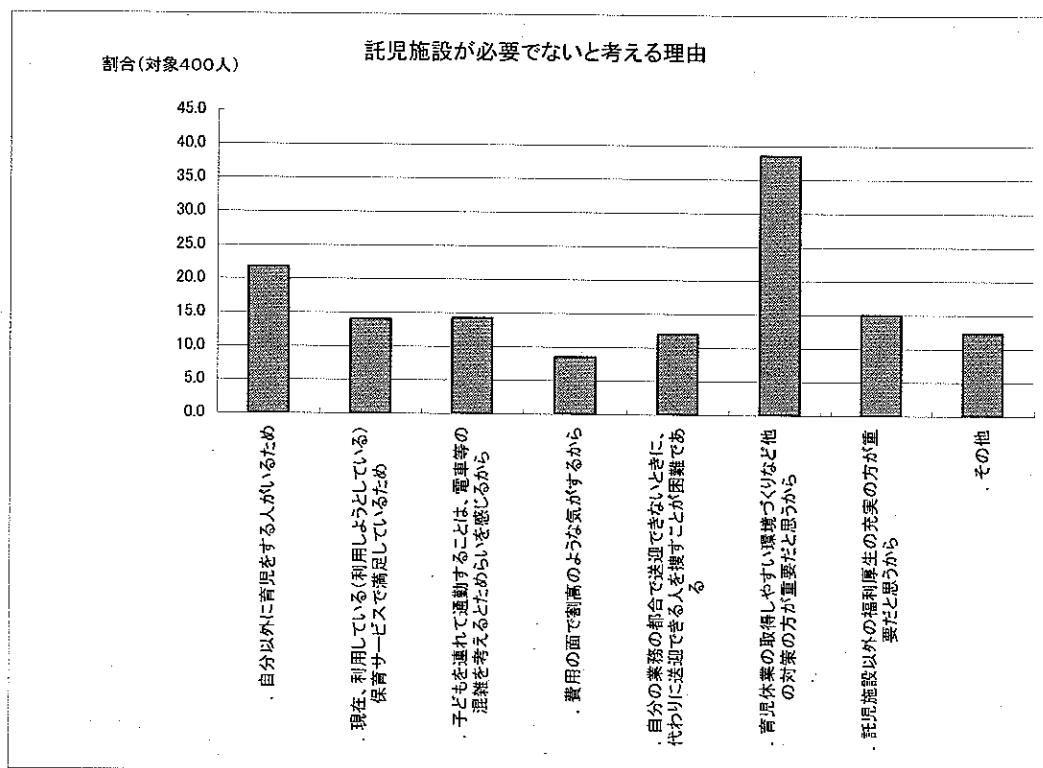


17. 庁内又は庁舎の近隣に託児施設の設置が必要ないと考える理由

※複数回答可  
 ※有効回答 400件

- ・必要ないと考える理由では、「育児休業の取得しやすい環境づくりなど他の対策の方が重要だと思うから」、「自分以外に育児をする人がいるため」と回答した者の割合が多い。
- ・その他の意見では、「通勤時間などを考えると子どものためには自宅近くがいい」、「市民理解が得られるのか」などがあつた。

	人数	割合
1. 自分以外に育児をする人がいるため	87	21.8
2. 現在、利用している（利用しようとしている）保育サービスで満足しているため	56	14.0
3. 子どもを連れて通勤することは、電車等の混雑を考えるとためらいを感じるから	57	14.3
4. 費用の面で割高のような気がするから	34	8.5
5. 自分の業務の都合で送迎できないときに、代わりに送迎できる人を捜すことが困難で	48	12.0
6. 育児休業の取得しやすい環境づくりなど他の対策の方が重要だと思うから	154	38.5
7. 託児施設以外の福利厚生の実践の方が重要だと思うから	60	15.0
8. その他	49	12.3
	400	

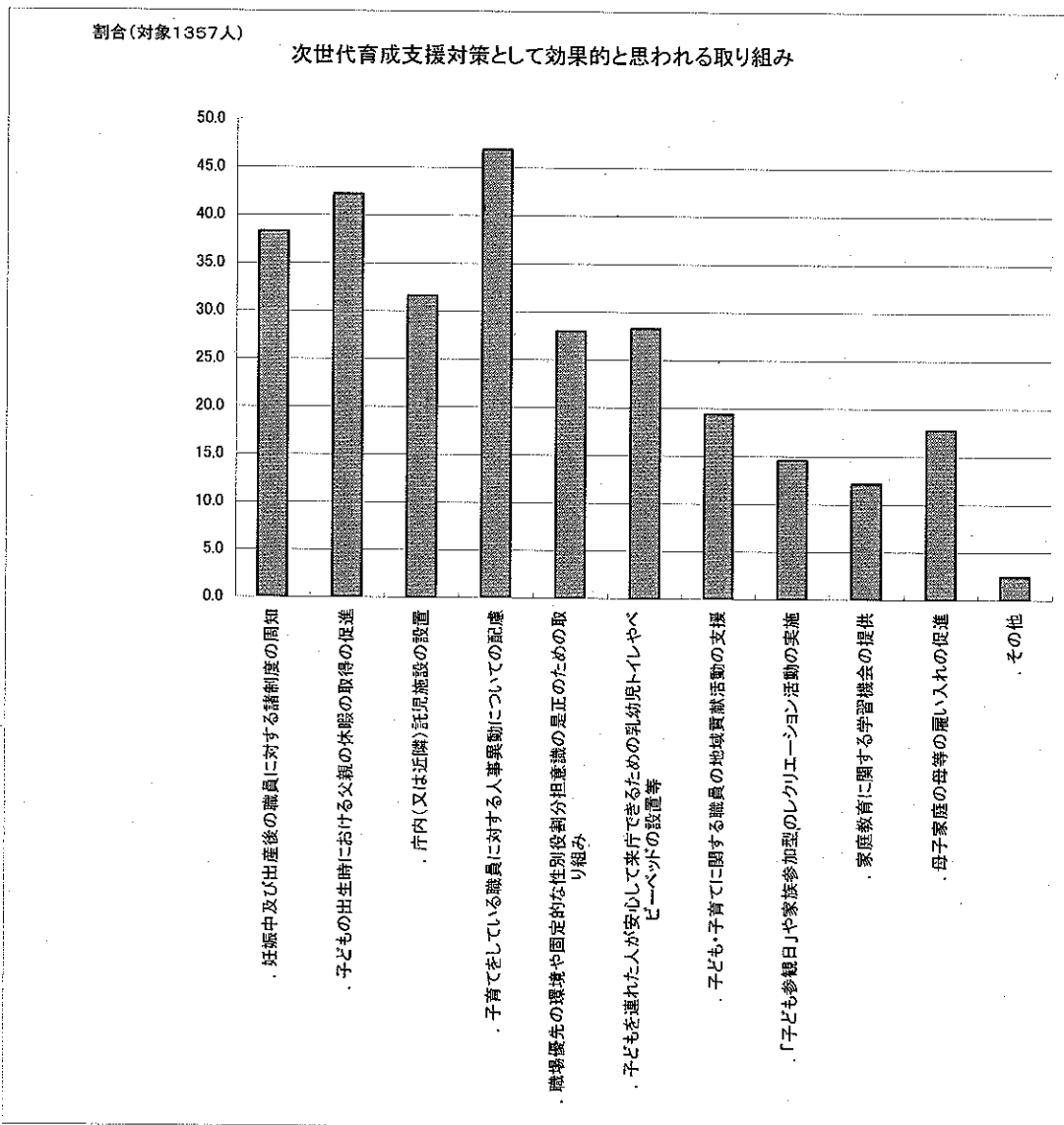


### 18. 国が定めた行動計画策定指針に規定される事項について

※複数回答可  
 ※有効回答 1,357件

次世代育成支援対策に効果的と思われる取り組み	人数	割合
1. 妊娠中及び出産後の職員に対する諸制度の周知	520	38.3
2. 子どもの出生時における父親の休暇の取得の促進	573	42.2
3. 庁内（又は近隣）託児施設の設置	429	31.6
4. 子育てをしている職員に対する人事異動についての配慮	636	46.9
5. 職場優先の環境や固定的な性別役割分担意識の是正のための取り組み	380	28.0
6. 子どもを連れて来庁できるための乳幼児トイレやベビーベッドの設置	384	28.3
7. 子ども・子育てに関する職員の地域貢献活動の支援	263	19.4
8. 「子ども参観日」や家族参加型のレクリエーション活動の実施	198	14.6
9. 家庭教育に関する学習機会の提供	165	12.2
10. 母子家庭の母等の雇い入れの促進	241	17.8
11. その他	33	2.4
	1,357	

※「子ども参観日」とは、子どもを対象とした職場見学などのことです。



19. 上記(18)以外に具体的に計画に盛り込むべきと思われる事項

※複数回答可  
 ※有効回答 1,357

	人数	割合
1. 育児休業等からの円滑な職場復帰支援のため、復職時におけるOJT研修等の充実	333	24.5
2. 育児休業等に伴う代替要員として任期付採用や臨時職員の活用	656	48.3
3. 超過勤務縮減のため「ずらし勤務」の活用	420	31.0
4. 短時間勤務の実施	424	31.2
5. 子どもの看護休暇など休暇制度の充実や時間単位取得などの弾力化	520	38.3
6. 経済的支援の充実	383	28.2
7. 女性職員の相談に応じる「キャリア相談員」の設置	152	11.2
8. セクシャルハラスメント防止のための研修の実施	135	9.9
9. その他	21	1.5
	1,357	

